



# 天文資料

2020年 5月号

令和2年度 第2号 (5月号)

令和2年4月26日

発行：佐世保市少年科学館  
佐世保市少年科学館



## <3月に引き続き、4月も休館でした。残念！>

新型コロナウイルスがなかなか収束しません。少年科学館

は3月1日から休館となり、4月も引き続き休館となりました。

いつになれば明るい見通しが立つのでしょうか…。

気を取り直して、5月の星空をご紹介します。

5月の星空は春の大三角が頭上高に見え、しし座、うしかい

座、おとめ座が「我が世の春」をおう歌しているようです。

今月は、春の重星をご紹介します。重星は、見た目には1つ

の星ですが、望遠鏡で見ると2つ以上の星が見えるものです。

ここでは5つの重星をご紹介します。

① ミザール(おおぐま座)：視力に自信のある人は肉眼でも

すぐそばにもうひとつ星があることに気づくでしょう。この星はアルコルと言います。望遠鏡で見ると、ミザールのすぐそばにさらにもうひとつ星が見えてきます。

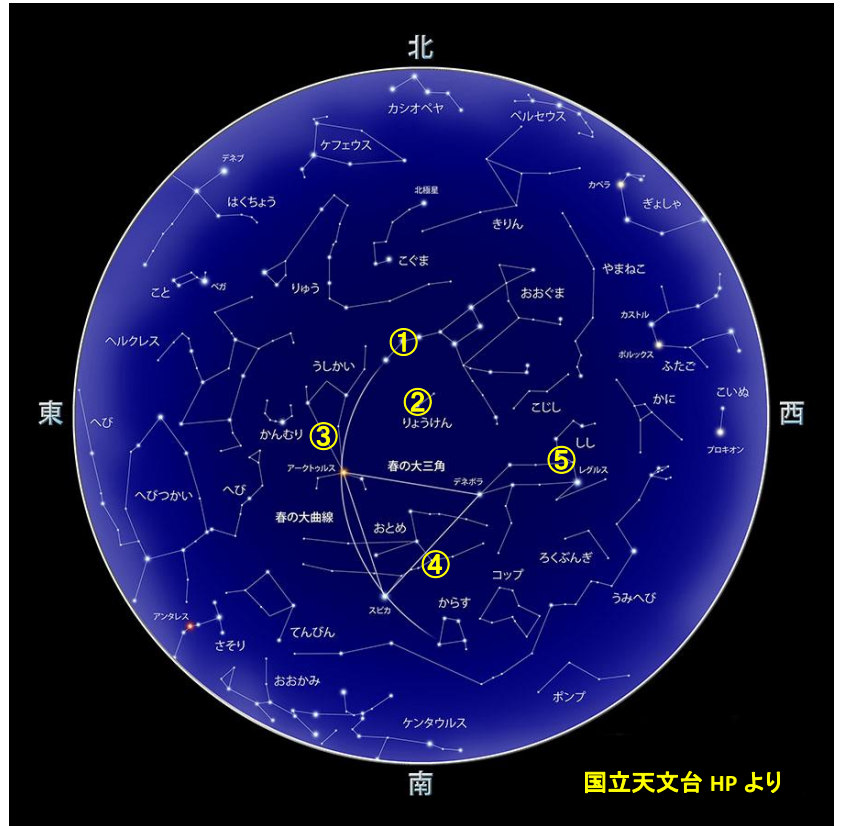
② コル・カロリ(りょうけん座)：黄と青の星が隣り合わせで輝き、とてもきれいです。(右の写真)

③ プルケリマ(うしかい座)：少し大きめの望遠鏡で倍率を上げると見えてきます。明るい星と暗い星の差が少し大きいです。

④ ポリマ(おとめ座)：3等級の星が2つ、くっつくように並んで見えます。雪だるまのイメージです。

⑤ アルギエバ(しし座)：2等級と3等級の星が、すぐ隣り合わせに見えます。

ほかにも重星はたくさんありますが、明るさの差が大きすぎるものやどちらか暗く見えにくいものが多いので、これだけご紹介しました。



国立天文台 HP より



## <久々に明るい彗星になるでしょうか!? アトラス彗星>

5月はアトラス彗星(2019Y4)が北西の低空で明るくなる予想が出ています。一番明るくなる時期は

6月上旬ですが、彗星は5月下旬には南半球に移動していきますので残念ながら見られません。

しかし、5月中旬はぎよしゃ座カペラの右側(北側)を1等級~0等級で移動していく予想が立って

ますので、望遠鏡や双眼鏡などをお持ちの方は探してみてくださいはいかがでしょうか。

5月に入り、低空まできれいに晴れた日は、肉眼で見ることができるかもしれません。過去に大彗星となった実績のある彗星です。

夕方、期待して北西の低空を探してみてください。大まかな場所は写真にお示した通りです。(☆ 5月中旬)

